

災害時!!その情報は、コム・アンド・コムかもしれない? 災害・安否といえば、LifeMail

- 日本気象協会の共同システム開発企業として、自治体同様の高精度の情報を民間にも同時に提供
- 日本政府関連機関承認の天才プログラマーが15年間育て続ける強固なITシステム
(※独立行政法人情報処理推進機構認定のスーパークリエータ／天才プログラマー)
- 大手損保／大流通産業／大手通信事業社／最大手ロードサービス事業社の安否情報配信エンジンをOEMサポート

＜主な特徴＞	
自動配信	気象庁発表の地震・津波情報を、日本気象協会との専用線接続によりリアルタイムに取得。その情報を元に、基準を超える災害発生時には自動的に安否確認メールを配信します。「ライフメール」は地震、津波情報以外に、火山、台風、警報注意報の各情報をリアルタイムにお届けします。
高速配信	防災メールの配信先として、最も適しているのは普段持ち歩く携帯電話メールです。「ライフメール」は、携帯電話アドレスに特化した独自開発の高速メール配信エンジンを搭載。キャリアによる迷惑メールブロックを受けることなく、高速配信を実現します。
免震対応	「ライフメール」は、免震構造の堅牢・高セキュリティのインターネットデータセンターで24時間365日有人監視下で稼働しています。万一、会社が被災した場合、社内システムがダウンするような場合でも、自動的に社員様の安否確認をします。
管理機能	ブラウザでご利用頂ける管理画面をご用意しています。安否確認実行時には、管理画面より社員様の安否状況をリアルタイムに確認頂けます。また、平常時には「ライフメール」を携帯電話メール経由で、社内連絡網としてご利用が可能です。

新開発
自治体向けに待望の新商品!!
「防災すすめーる」
2016年8月リリース予定

- 3大特徴**
- ローコストで安心の災害時情報提供
 - 自治体の住民サービスに特化したセレクト機能
 - 日本気象協会の気象情報を即座に配信

日本気象協会とコム・アンド・コムの共同により、日本気象協会から発表された、標準気象情報(警報注意報／地震情報／東海地震関連情報／津波情報／台風情報／火山情報／土砂災害警戒情報／竜巻注意情報／記録的短時間降雨／洪水予報／天気予報)を瞬時に、各自治体からの行政サービス情報としてメール配信可能なシステム情報サービスです。自治体が独自で行う行政情報配信と気象災害情報配信に特化した機能に限定した事でクラウド化を実現。信頼性の高い安定した情報発信のローコスト化を実現します。

「先行説明会」開催中!

[お問い合わせ先]
株式会社 コム・アンド・コム

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3丁目3-7 天神応順ビル8F
TEL : 092-736-5602 E-Mail : info@project-com.com
URL : http://www.project-com.com

何かと忙しい だいせつにします プライバシー マーク担当者必見! 問題めるくる

スマートフォン等を使い「クイズ感覚で個人情報取り扱いのトレーニング」が出来る!!

「問題めるくる」は、プライバシーマークを取得している企業様及び、個人情報に関する可能性がある企業様のスタッフの皆様が、指定されたメールアドレスに配信された問題に解答を返信することで、個人情報の取り扱いの正しい知識を得る事が出来ます。

また、プライバシーマークを取得している企業様で義務付けられている最低年1回以上の勉強会と効果測定の記録保持も、「プライバシーマークの教育実施記録」として使用する事が可能です。

なお、配信コンテンツ(問題の配信と解答の返信)は、プライバシーマークの指導に定評の高い有限責任監査法人トマツが行います。(現在1回につき5問、毎月3回配信中)

“問題めるくる”的システム

指定配信

携帯対応

簡単利用

管理機能

「問題めるくる」では、問題を携帯メールに配信する機能の充実だけでなく、配信後の解答状況や成績推移の管理など、トータルなシステム管理を充実させています。

■ 予め設定した時刻に自動配信

問題メールを、予め設定した時刻に自動的に配信できます。

■ 携帯電話メールを利用した配信システム

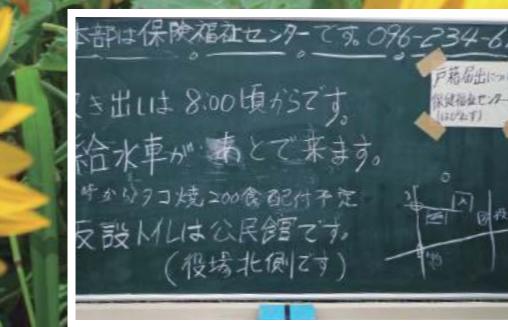
普段持ち歩く携帯電話のメールを利用出来ますので、空いた時間等に解答することができます。

■ ASPサービスにて提供

データセンターにてサービス提供しておりますので、今お使いのパソコンや携帯電話をそのままご利用できます。

■ 管理画面にて集計、利用者の状況把握が可能

ブラウザでご利用頂ける、管理画面をご用意しています。利用者の進捗状況を把握することができます。



CO N T E N T S

■ ケーススタディー 熊本地震に学ぶ こんな時にLifeMail

■ LifeMail Q & A

■ 備えて安心 防災便利グッズ

■ スマイル健康ライフ

■ お客様訪問－一般財団法人日本気象協会九州支社様－

■ Com and Comの人々

■ コムコムニュース

■ ナルホド! 知ってますか?



熊本地震の被災情報

最初の地震の発生は4月14日の夜、2度目の震度7の地震は16日の深夜でした。被災者の多くは、帰宅後に地震に見舞われ、企業としては、従業員さんたちの家屋の多くは損傷、落下物等での怪我、家族を含む安否、救出作業や、道路及び交通手段の確認も含め様々な緊急対応と確認が必要となりました。当然の事ながら、事業所も被災した状況で、企業の中心的第1防災担当者も軽傷を負い、避難場所に保護されていました。避難所の通信インフラは、一時オーバーフローして第1防災担当者は、直ぐに社員の皆様の安否を確認する事も、自分の情況を伝える事すら不可能な情況でした。

災害連絡リスクを複数名で分担出来るライフメールの強み

ライフメールの機能は、管理者を複数設定する事が出来ます。権限を分ける事も可能です。あらかじめ、第1担当者からの連絡が無い場合を想定し、第1担当者と

同じようにライフメールの管理画面を見たり、一斉連絡を実行する権限を持つ第2担当者を設定して対応マニュアルを作成しておいた結果、別の避難場所に居た第2担当者が、第1担当者からの安否連絡が無い事に気づき、自分のパスワードで管理画面を操作し、社員の無事を確認し、連絡の無い社員たちには、確認メールを再送



し続け第1担当者を含む全員の安否を確認出来ました。企業にとって、災害時に従業員さんとその家族の安否確認は重要です。担当者一人で全ての責任を負うのは不可能で、リスクを分担し助け合う事が大切です。



**Q ライフメールの管理者は、何人くらい設定出来ますか？
その時のセキュリティは？**

A ライフメールの大きな特徴は、①管理担当者数に制限が無い事です。②管理担当者の順番により権限範囲の設定も出来ます。③全ての管理担当者が個別のパスワードでアクセスする為にセキュリティ精度は非常に高いです。

「ライフメール管理者」で検索頂くか、弊社営業にお問い合わせください。

備えて安心 防災便利グッズ

携帯防災SET「ライフキット10プラス」

過去の大震災を検証して作られた災害時の便利グッズ。「自分の身は自分で守る」をテーマに、震災等の災害時に非常に便利です。また、梱包されているグッズは、平常時の防災防犯等にもお使い頂けます。



内 容

- ①ポシェットケース
- ②小さく明るいタグライト
- ③ブランケット
- ④圧縮ハンカチ
- ⑤不織布マスク
- ⑥震災笛
- ⑦子供用の笛
- ⑧軍手
- ⑨ハガキサイズ被災時マニュアル
- ⑩5年保存の防災食(井村屋のようかん)

4,300円(税別) お問い合わせは(株)コム・アンド・コムまで

CASE 1
社屋が被災!! 第1防災担当者も一時安否不明。第2担当者が避難場所からスマホで社員の全員の安否を確認。

スマートフォンの利便性をフルに活かしたライフメールの強み

今回の安否確認作業は、第2担当者が全てスマートフォンの管理画面で行いました。また、様々な情況確認は会社から支給された業務連絡用の物ではなく、個人所有の端末で緊急対応連絡された方も沢山いました。(メール連絡は、ガラケー携帯端末や自宅のPCからの方もいました。)避難所では、電気の供給が途絶える中、第2担当者のスマートフォンによって安否確認作業と従業員の皆様へのサポート作業が行われました。その後、一斉メールで社屋の情況確認を行ける社員の方々を募り、余震が続く中、早々と復旧作業が開始され顧客の皆様への不便やご心配を最小限にすませる事が出来ました。

お客様訪問

一般財団法人
日本気象協会 九州支社



一般財団法人
日本気象協会 九州支社
原田 恒夫 様

弊社と、日本気象協会様は以前より大変深い協力関係にあり、今回弊社所在地の九州で起きた「熊本地震」の情況を見て、兼ねてより共同開発をしておりましたシステムの早急なリリースの必要性を感じ、行政機関の災害情報を低予算で配信可能なメール配信サービスを、緊急リリースします。

今回は「熊本地震」特別対応企画として、被災直後に現地に入られた日本気象協会の原田恒夫様に「目で見た被災地」の様子などを特別にお伺いしました。

今回の「熊本地震」では、本震当日の4月16日は熊本市内に住む姉を迎えて、そして18日からは緊急支援と調査の為、益城町を含む被災地に入りました。車通行が可能な橋も、大半は段差が生じ、最徐行しないとパンクしそうな状態です。中越地震や各地の水害調査などに参加した経験から、ある程度予測はしていましたが、目に飛び込んできたのは、まさに修羅場でした。28日には別の調査団とも再訪し、避難者の多くの方々の表情が失われ、精神的に追い詰められている感じました。今回、コム・アンド・コムと共同開発中の「防災すすめーる」の追加機能対応にも活かせればと思います。

Com and Comの人々

ご挨拶に代えて、熊本地震で被災した皆様に先ず持つてお見舞いを申し上げるとともに、社業の役割の重要性を痛感致しました。



代表取締役 安田実男

株式会社コム・アンド・コムの安田実男でございます。この度の熊本における地震では弊社も同じ九州にある企業として、可能な限りのご支援をしたいと思います。また今回は、ご挨拶に代えて創業の思いを再認識し皆様への誓いをお伝えさせて頂きたいと存じます。思い返せば、1999年にNTTdocomoのiモードサービスが開始され、携帯電話を中心としたネット社会の到来を感じました。携帯コンテンツの多くが着メロ、待ち受けといった、楽しむ事を主眼とした、いわば嗜好品型のコンテンツであったのに対し、役に立つコンテンツ、必需品型のコンテンツを開発し、サービスを展開したいと思い、3人で起業しました。起業当初から目標としたのは安全安心に貢献するサービスを作り上げる事でした。「阪神淡路大震災」の時に、もしインターネットメールがもっと普及していたら、もっと被害が少なかつたかもしれないという思い、その後も「芸予地震」「十勝沖地震」と頻発する地震に、一刻も早く立ち上げたいという思いに後押しされ、2003年に完成、2004年の「新潟中越地震」よりも前に日本初の統合型安否確認サービス「ライフメール」を立ち上げることが出来ました。以来13年間、24時間365日、「東日本大震災」にも、今般の「熊本地震」にも一度たりとも止まる事なく、皆様に安否情報をご提供出来た事を誇りに思います。また、サービス構築当初から気象に関する数々のアドバイスを頂き、今も互いに強い協力関係にある、一般財団法人日本気象協会様の気象情報を核に、今後も皆様に頼られる安否情報専門企業として社会のお役に立ちたいと存じます。文末になりましたが、改めて「東日本大震災」、「熊本地震」における被災地の一早い復興を祈念致します。

コムコムニュース

弊社、「コム・アンド・コム」と「日本気象協会」とで共同開発中の、全国の自治体向け商品「防災すすめーる」(行政機関による、全国の住民向け災害時情報配信プラットフォーム)を2016年8月リリース予定。自治体の皆様には低予算で強固な住民向けサービスが可能になります。是非ご利用ください。詳しくは、株式会社コム・アンド・コムまでお問い合わせください。

ナルホド！ 知ってますか？

初めて花火を見た日本人は、あの“伊達者”戦国武将だった！



花火の歴史は、紀元前3世紀、古代中国で火薬のもととなる硝石が発見されたのがルーツとされています。では、日本では、誰が花火を最初に見たのか？実は今まで長らく、1613年に英国王の使者ジョン・セリスが徳川家康に献上したという『駿府政事録』の記録が最も古く、これが最初とされてきました。ところが、1972年に出版された『仙台藩資料大成』に収録の『伊達家治家記録』に、1589年には米沢城で伊達政宗が唐人による花火を楽しんだとの記述が最近発見されました。また、伊達政宗と言えば豪華絢爛な戦装束で洒落た人を指す“伊達男”的語源ともなった戦国武将で、非常に高い人気があります。

